

2010年3月30日

核兵器なくそう・世界青年のつどい準備委員会議事録

参加者：石垣、前川、折原、森田、国吉、利波、松山、野村、小松

自己紹介：各自から

ミニ学習会：前川さんより「米露核軍縮新条約をどう見るか」を15分ほど

【議題】

(1) 核兵器なくそう・世界青年のつどい in 静岡の報告

<現地静岡から>

利波さんから現地での振り返り会議の報告。

- ・課題はたくさんあったが、おおむね好評ではなかっただろうか。
- ・ナレーション劇は、賛否両論があって、それなりに考えてもらえたと思えば成功では。
- ・クイズの正解率が高かったのは、NPT にむけて事前学習をしてきたからだと思う。
- ・津波の被害で、公共交通機関がおくれたのは仕方がない。
- ・(ナレーション劇は)年明けに出来上がっていて、練習がもっとできればよかった。
- ・演技指導がとてもよかったと思う。演じる人も良かった。
- ・当日のリハーサルでは、進行を全員で確認できなかった。昼食休憩が押したことは、次の参加につながる由々しき事態だと思う。
- ・午前中は、分科会のリハーサルもやったので経費の負担を見てほしいと思った。
- ・本集会で役割を持っている人と、つどい担当の人、指揮できる人をきちんと別途用意する。
- ・参加集約が遅い。
- ・今後のあり方は、7月いっぱい、8月には結論を持ちたい。8月末には、翌年の企画を考えたい。12月後半には大枠を決めたいと思う。

<中央から>

前川さんが運営委員会の議論を報告

- ・現地の人为主体的に取り組んだのは素晴らしい。
- ・大人の中で発言しづらい青年が、1分間スピーチという企画のおかげで、自由に発言できた。
- ・NPT 参加者が全員ステージにあがれたので、気持ちが高まった。
- ・今後も、現地主導でやっていくことが大切では。
- ・毎年9月の久保山愛吉さんの命日が、実行委員会立ち上げの日なので、そこを期に。

<フロア発言>

・高校に入ってから毎年ピクニデーに参加してました。今年は、ひとりで参加しました。いままでは受身でしたが、準備に参加して、スタッフを経験してうれしかった。残念なのが、全体会に参加できなかったのが勉強できませんでした。リハーサルが前日にできたらいいと思った。野村さんのスパルタ指導に、びっくり。自分自身が被爆者の役をやって、疑似体験ができました。役をやれてよかった。崩れ落ちるシーンで、トイレで練習しました。反省すべき点はたくさんありましたが、はじめて運営にかかわれた私は、すごいな、青年のつどいっていいなと思いました。

・劇も大変だったと思いますが、よかったと思います。発言が会場からつづいたのが、よかったですね。内容には申し分ない。リハーサルは今回、凝った劇なので時間がかかった。各地域として代表としてきているので、リハーサルは前日がよかったのでは。ただ、前日に入るのも経費の関係上、きびしいのでは。分科会は、アクシデントが...現地の青年が協力するというのが理解されていないのでは。他の分科会も、おじさんの研究発表の場になりやすい。なるべく若いひとが発言できるように苦労するべきかも。

・企画もよかったし、前回よりも楽しかった雰囲気。司会が若いのがいい。参加者も若い気がしました。元気いっぱいの気がします。劇も本格的で、指導員の方が...。意外とつぎつぎと若い人から発言できたのがよかつ

た。絶えない雰囲気良かった。参加型の部分が、時間が長くてちょっと。お弁当とりハーサルのことは、いつも省略していたので、反省した方がいいでしょう。

- ・お昼に「メシ！メシ！」と叫んでいたのが、忘れられない。
- ・望月君はすごい。司会であんなにキリモリできるなんて。
- ・県内をいろんな団体をオルグしたのが、生きていた。民青ともいっしょにできたし、自治労連も来てくれたし。津波がなければ、もっと参加者が来てくれたのに。とても良かった。
- ・東京の高校生ももっと参加できればよかったけど、いけない人もいた。ビキニデーに行きたかった。知らない高校生もたくさんいるので、もっと知らせたい。東京でもできないのかな。東京で世界青年のつどいを。
- ・夏との大きな違いは、3月は休みじゃないんですよ。入試の日程が今年から変わって、代休がなくなりました。高校生は、今後、いけないことが。学校だから、夜に帰らないといけないし。大学生に声をかけましょう。
- ・ビキニデーにいけない人で、展示館で学習会をしましたよ。
- ・核兵器をなくそう、世界高校生のつどいをやりたいね。
- ・NPT 再検討会議を前面にするのか、ビキニデーが運動のスタートと、するのか。議論になった。全体的に、ビキニデーがスタートが位置づいていて、良かったと思う。いままで、一番、完成度が高いと思う。
- ・海外からのメッセージがもっと丁寧に使えたらよかったかも。正直言って、送ってくれた方には、報告しにくいと思います。バツサリ削られていたのが、残念。わざわざ送ってきてくれたものなので、手を入れてほしくないと思いました。
- ・もっと早い段階でメッセージがくることを確認できれば、クイズ以外で使えたかもしれない。
- ・現地が輝いていた。逆に、遠慮しちゃうほど。参加者の声を聞いたらいいと思いました。
- ・3回やったことが積みあがった。こちらは、とにかく作っていきこうとしているだけ。きちんと共有できていたのがよかった。実感できた。これから来年にむけて。手の問題に集約されていたのが、今年は、そういうところがじゃないことを反省で出せたのが良かったと思います。
- ・今後は、さらに発展した青年企画を。
- ・そしたら、なんとか、8月末までに見えないだろうか？
- ・中央と共同開催。青年と労働者がつどう場所をつくりましょう。というのが、現地の決定です。2時間ではなく、2時間半か、3時間枠でほしい。分科会を1個つぶしてもほしい面があります。特に、グループトークはやりたかったので、残念。

(2) つどい in ニューヨークについて

国吉さんから報告。

野村さんから報告。

質問：班ごとの行動になると思いますが、それをぬけて、青年の行動に参加できますか？

前川：班長さんに相談してください。

質問：中央団体は、理解あるが、地方はむずかしいのでは。迷子とかも。

前川：日程が詰まれば、問題はないと思います。

質問：現地で上映するDVDは大丈夫？

野村：大丈夫です。

次回は、4月20日の19時から、全労連4Fです。